

# とめNNだより

令和5年12月発行

第34号



「とめNNだより」は、農業農村整備部(通称NN部)の広報広聴活動の一環として、登米管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせする目的で、年4回発行を予定しております。掲載内容についてお問い合わせ等ありましたら、管理調整班までご連絡ください。

【東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部広報広聴委員会】

## Lineup

内容	ページ
「内ノ目地区」「上沼桜場地区」の土壌調査が行われました	1
「農業と農村のいろいろなはたらき」学習会を開催しました！	2
第35回なかだの秋祭り「土地改良コーナー」を取材しました	3
伊豆沼2工区地区でレンコンが収穫されています！	3
令和5年度「特定家畜伝染病の発生時における防疫演習(埋却)」を開催しました	4

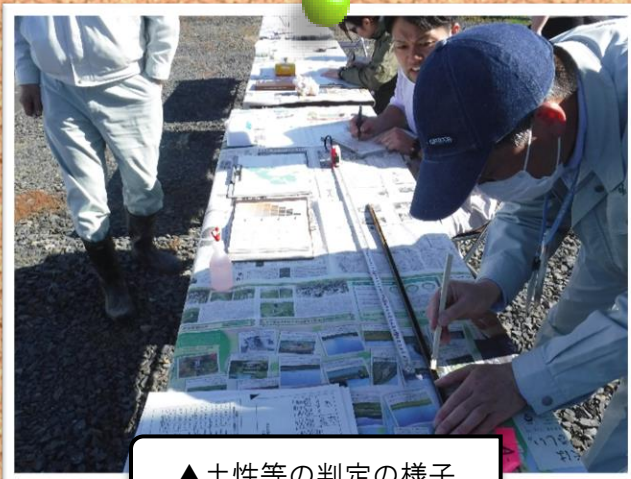
## 「内ノ目地区」「上沼桜場地区」の土壌調査が行われました

農地整備事業として令和8年度新規採択を目指している登米市東和町の「内ノ目地区」及び登米市中田町の「上沼桜場地区」における土壌調査が11月に行われました。

東部地方振興事務所が主体となり、設計コンサルタント及び関係土地改良区、当事務所の関係職員が、地区推進委員長など地元農家の協力を得ながら実施されました。

この調査は、表土扱いや暗渠排水の必要性、計画用水量算定の基礎とするために必要な調査です。1日目は、地区ごとに土壌ステッキによるサンプリングを行い土壌区域図を作成しました。2日目は各土壌の代表箇所を1m四方に試掘し、当事務所農業振興部(登米農業改良普及センター)による詳細な土壌判定が行われました。

令和8年度の事業採択に向け、今後も関係機関と協力し業務を進めていきます。



▲土性等の判定の様子



▲試掘調査の様子



## 「農業と農村のいろいろなはたらき」学習会を開催しました！

令和5年10月25日、登米市立西郷小学校の4・5年生20名を対象に、区画整理工事実施中の農地整備事業「沼崎・大平地区」において、現場学習会を実施しました。

この学習会は「農業と農村の色々な働きについて学び、自分たちの住んでいる農村の地域資源の大切さについて理解を深めてもらうこと」を目的に開催したものです。

現場では、先進技術を活用したICT建設機械を実際に動かし、自動制御による盛土作業などの見学や建設機械・測量器械にも実際に触れて、建設現場での仕事を実際に体験してもらいました。

### ① 農業と農村のいろいろなはたらきについて

農業や農村の持つ多面的機能・農業活動によって、米や野菜といった農産物以外に、社会に役立つ様々な働きが生み出されていることや、ため池の注意点（ため池のルール）についても、当事務所農業農村整備部の職員から説明をしました。



▲説明の様子



▲説明の様子

### ② 農地整備事業「沼崎・大平地区」について

登米地域の農業の特色も盛り込みながら農地整備事業の目的と効果や、農地整備事業実施中の「沼崎・大平地区」の概要と、本地域における農業と畜産の資源循環型農業への取り組みについて説明しました。



▲建設機械体験の様子

### ③ 工事現場ではたらく建設機械（ICT 機械施工）

建設機械が自動で動く仕組みや作業状況を見学し、工事受注者（(株)浅野工務店）指導の下、工事の測量器械の操作体験などを行いました。



## 第35回なかだの秋祭り「土地改良コーナー」を取材しました

令和5年11月5日、なかだの秋祭りが開催され、北上川沿岸中田地区土地改良区が「土地改良コーナー」を展示しました。コロナ禍以降4年ぶりの秋祭り開催とあってたくさんの方で賑わい、土地改良コーナーにもおよそ200人が来場しました。

土地改良コーナーは、土地改良や農地に関するDVD上映、改良区管内の田んぼや農地の四季折々の写真を展示したり、パネルを見ながらクイズに答えるコーナーなどがありました。また、改良区で管理している3つの機場（大泉揚水機場、五ヶ村堀排水機場、水越揚水機場）のジオラマも展示されており、機場周辺の水路や田んぼなども細かく再現されていました。

来場者は、クイズに挑戦したり、自分の家の近くにある田んぼや機場の写真などに興味深く見入っており、「この水路の水はどの川から流れてくるの？」などと写真やジオラマを指さしながら改良区職員に質問したりしていました。来場者にとって、自分の地域の田んぼや農地の様子、改良区の仕事について知る良い機会だったのではないのでしょうか。



▲お父さんとクイズに挑戦

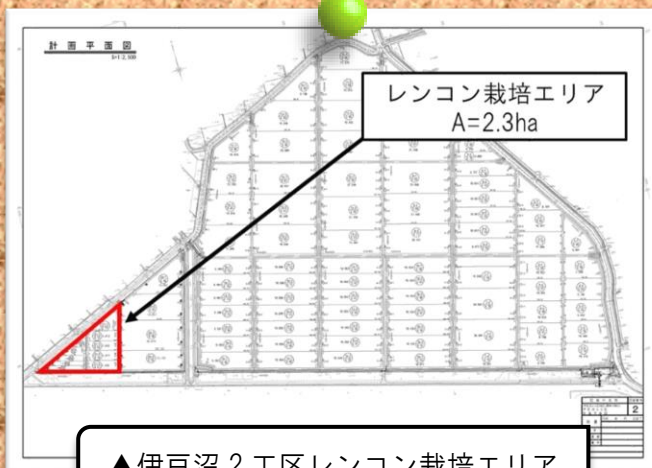


▲ジオラマは改良区職員の手作りとのこと。スゴイ！

## 伊豆沼2工区地区でレンコンが収穫されています！

農地整備事業「伊豆沼2工区地区」で整備されたレンコン田で今年も、レンコンが収穫されています。伊豆沼2工区地区では、2.3haほど栽培されており、レンコンの需要がもっとも高くなる12月頃に収穫の最盛期を迎えます。収穫後は、地元のスーパーや農産物直売所に卸されており、「伊豆沼れんこん」という商品名で販売されています。

レンコンは高収益作物と呼ばれています。高収益作物とは、主食用米（水稻）と比べて作付面積あたりの収益性が高い作物のことを言い、水稻作に比べると作業手間やノウハウが必要となりますが、そのぶん高い収入が見込まれます。今後、高収益作物の導入が各地域に広がることにより、農家所得向上に寄与することが期待されています。



▲伊豆沼2工区レンコン栽培エリア



▲レンコン収穫状況



## 令和5年度「特定家畜伝染病の発生時における防疫演習(埋却)」を開催しました

令和5年11月8日、宮城県建設業協会登米支部（以下、協会）当事務所が合同で「特定家畜伝染病の発生時における防疫演習（埋却）」を開催しました。運搬から埋却までの工程を重点としたもので、登米市迫町内の協会会員所有地を使用し、当事務所職員、協会各社、関係機関など合計83名が参加しました。

最初に当事務所農業振興部の職員が講師となり、ウイルス付着を防ぐための防護服等の着衣演習が行われました。その後、協会各社の重機オペレーター及び玉掛け担当者が防護服を着用し、豚熱を想定した豚舎から埋却地までの「積み込み」「運搬」「積み替え」「運搬」「積卸し」と一連の流れに沿った実地演習を行いました。

登米地域ではこれまで幸いにも特定家畜伝染病は発生していませんが、県内有数の畜産地域でもあり、発生した場合の影響は多大なものとなります。その有事の際、速やかに準備を整え短時間で埋却作業を完了させるよう、各関係機関と協力して対応していきます。



▲ダンプトラックへの積み込み



▲積み込み作業を見守る参加者



▲ダンプトラックから  
クローラダンプへの積み替え

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部 広報広聴委員会（編集:管理調整班）



〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼 150-5  
Tel : 0220-22-5169 Fax : 0220-22-6015  
E-mail : [et-tmnbkt@pref.miyagi.lg.jp](mailto:et-tmnbkt@pref.miyagi.lg.jp)  
URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-ns/>

こちらからも  
アクセス出来ます!!

